

## 公募設置管理制度の活用について

**(質問)** 公園維持管理費削減や公園利用者の利便性向上を目的に、民間によるパークPFI制度の活用を検討すべきでは。

**(答弁)** 公園施設の維持管理経費は全体で約2.4億円。公園のストック効果を最大限に生かすには民間事業者などとの連携が必要で、年度内にサウンディング型市場調査を実施する準備を進めている。さまざまなアイデアや意見を参考に、民間活力を利用した事業や公園の候補を選定し次段階の事業化検討へ進めたい。

**その他の質問** ○おくやみコーナー  
○地区市民センターによる地域支援



## 人口減少対策のすべての部局への指針について

**(質問)** 選んでいただけるまち鈴鹿にするために、子ども・若者・女性を中心に全世代の方々の生活の中で、どんな環境にあり、生きづらさのない、暮らしやすい、子育てしやすい、優しいまちとするために、全部局が取り組む生活の質の向上に向けた今後の戦略・施策は何か。

**(答弁)** 人口減少抑止策の目標である安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現に向け、特別保育事業、子育て支援、教育施策の充実など、これらの成果を生かし今後につな

**その他の質問** ○コロナ対策



## 長期欠席・不登校について

**(質問)** 中学校進学時に急増している不登校対策の一つとして、小学校に配置されているスクールライフサポーターを中学1年生の1学期末ごろまで柔軟に活用できないか。

**(答弁)** 中学校進学時には、安心して中学校生活を送るための引き継ぎ支援会議を開催して、どのような支援を希望しているのか、本人や保護者の思いを十分に聴き取り、お互いの意思疎通や共通理解の下、状況に応じた適切な支援が実施できるように努めていく。

**その他の質問** ○家庭の教育力の向上・強化



## 本市の少子化による影響について

**(質問)** 市内の就学前施設は徐々に老朽化しており、耐震性能など現在の基準を満たす必要があると思うが、私立保育園の建て替え、改修などはどう考えているか。また、少子化への対応は。

**(答弁)** 私立保育園などの建て替えや大規模修繕などは国の基準額に対し国が2分の1、市と事業者がそれぞれ4分の1を負担。また耐震診断に要する費用の3分の2以内の額で40万円を上限とする補助事業がある。また、少子化への対応は、ニーズや地域性も踏まえ、鈴鹿市子ども・子育て会議で検討していく。

**その他の質問** ○文化財保護



## マイナポイントについて

**(質問)** 健康保険証や公金受取口座をマイナンバーカードへ登録すると、最大で2万円分のマイナポイントが付与される。本市の現状について問う。

**(答弁)** マイナンバーカードの申請枚数は8月末現在で、11万2,128枚。この内、9万4,790枚の交付が完了している。また、15歳未満の方がマイナポイントを申し込む場合で、自身で申し込むことが困難な場合には、法定代理人が代理申請できるほか、法定代理人がポイントを受けることができる。

**その他の質問** ○選挙行政 ○保護行政



## 職員の人事評価等について

**(質問)** 採用試験以降は一度も試験が実施されずに昇進させる人事評価は、透明性に欠けることから昇格試験の導入について問う。

**(答弁)** 職員の昇任は役職任用基準を基に選考により決定し、また人事評価は適性を客観的に判断する資料として活用している。県内14市の昇任試験の導入状況は、2市で導入実績があるものの、受験者が減少し、人事が硬直化するなどの課題も見られる。昇任制度については、知識偏重でなく、総合的な業務遂行能力と業務適性を的確に評価するための手法をさまざまな観点から検討する。

